

道の駅ほうじょう開駅式あいさつ

本日は、道の駅ほうじょうの開駅式を開催しましたところ、亀井鳥取県副知事様をはじめ、多くの来賓の皆様、そして今日までご尽力・ご協力をいただきました皆様にご臨席いただき、誠にありがとうございました。また、遠くは友好交流を結んでいます滋賀県湖南市の松浦市長様、埼玉県横瀬町の井上副町長様にもおいでいただいております。ありがとうございます。

この道の駅は、1993年（平成5年）に道の駅「北条公園」としてオープンしました。多くの皆さんにご利用していただきましたが、施設の老朽化や来場者の減少等の課題がありました。そこで、松本前町長のリーダーシップにより、新たな賑わいを創出する拠点として生まれ変わるという方針のもと、平成28年3月に設立準備会を立ち上げ、その後、地元の柿本さんを会長とする運営連絡協議会での意見を聞きながら事業を推進してまいりました。重点道の駅にも選定され、そして何と云っても事業を推進できたのは、町単独ではなく、令和2年7月に国交省様との一体型整備として協定し、連携して事業を推進していくことになったことでもあります。そして、令和5年8月には、新名称として、地区の名前の“北条”と実り豊かな“豊穰”を表し、ひらがなで道の駅「ほうじょう」としました。

道の駅ほうじょうは、今いる南エリアと国道9号線を挟んでの北エリアからなります。北エリアは、オートキャンプ場を併設しています。そして、昨年4月にはバーベキュー棟もオープンしました。駐車場、休憩場所、トイレ、情報コーナー、防災倉庫整備されました。

そして、ここ、南エリアです。敷地面積は、約17,900㎡で、鳥取県立美術館とほぼ同じです。全体の建築の外観は、北条砂丘の自然を意識したものとしています。建物の中央から西側には、休憩ラウンジ、中庭テラス、乳児やキッズコーナー、情報発信コーナー、トイレ、ハートフル駐車場、防災倉庫を整備しています。東側には、産直物販コーナー、パン工房、レストランなどを整備しています。ここの整備には、農水省所管の「農山漁村振興交付金」を活用できたことも大きな助けとなりました。ありがとうございました。また環境にやさしい取り組みとして、太陽光発電設備やEV

急速充電器設備を整備しています。

建物の中に入った利用者の皆様には、上も見ていただきたいと思います。今回の施設の注目すべき特徴であります、鳥取県中部の木材をふんだんに活用し、一見複雑に見える構造は、シンプルに力が伝わる形となっており、まるで森林の中にいるような、木の温かみを感じられる建築となっています。木材調達では、中部森林組合様にも大変お世話になりました。また木材調達という面では、広域防災拠点での支援とあわせ鳥取県様にもお世話になりました。そして、持続可能に管理された「森林認証材」を活用し、SGEC 森林認証材として、鳥取県で初めてのプロジェクトとなりました。この演台も、その SGEC 森林認証材を活用したもので、駅舎の建築を行っていただいた高野組・共栄組さんからの寄贈です。いろいろな場で活用させていただきます。

そして運営は、地元農産物の魅力をフルに活かしたオリジナル商品開発に長けた、全国で実績のある（株）TTC さんをお願いすることとしました。販売方法もユニークです。駅舎に入ったとたんに圧倒されます。そして、地元農産物はもちろん、県内の特産品を活用したオリジナル商品、スイーツ、飲食メニューを提供していただくようになっています。

道の駅は、単に休憩や情報がとれる場所から、観光や地方創生の拠点として活用されるよう求められています。ここに来れば、地元の特産物が手に入る、そしてここを新たな中部地域の玄関口として、周辺の観光地を散策していただくことによって、地域の活性化につながっていかねばなりません。新しい施設を造った、で終わりではありません。ここを多くの方に末永く、利用していただかなければなりません。

終わりに、ここが地域に愛され北条砂丘の魅力に満ちた交流拠点となるよう、運営者と一丸となり、お越しいただく全ての皆様に親しまれ、快適にご利用いただける道の駅となるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げ、開駅式にあたってのごあいさつとします。本日は誠にありがとうございました。

令和 7 年 4 月 25 日

北栄町長 手嶋俊樹